

## 千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために相当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

## 前 号 目 次

### 論 説

- 権力、権威構造としての組織の研究  
—資源依存説を中心とするアプローチ—……………影 山 僖 一(1)
- Assortment Function Model in the Marketing Structures……………NISHIMURA, Fumitaka(17)
- 明治の企業家 杉山徳三郎の研究  
内輪式蒸気船「先登丸」について  
—安政末・文久期徳川幕府の造船政策と関連して—……………杉 山 謙二郎(41)
- 「効率」と「公平」から見た中国財政構造の変化……………陳 子 雷(79)
- 環境会計における新たな評価方法の提言  
—生態ピラミッドを利用した資産評価の方法—……………吉 田 寛(109)
- 米国情報通信産業に対する成長戦略に関する一考察  
—1991年高性能コンピュータ法の議会記録を中心に—……………藏 田 幸 三(135)

### 研究ノート

- 建設外注費の本質とその真実性……………新 川 正 子(165)
- 給与所得控除に関する理論的検証……………谷 川 喜美江(193)
- 抄録……………(223)